

走行前車両検査

レース前の車両検査は、車両の安全性をチェックするものであり、クラス別の車両規則違反を確認するものではありません。

車両検査にて指摘することの多い項目を説明しておりますので、当日車検時に不備等が無いようお願い致します。

1. クラッチレバー・ブレーキレバーの先端は、最低直径 14mm 以上の丸みを保持すること



削れているモノは不可



2. ハンドルを左右一杯に切った際、ライダーの指を挟まないよう間隔を保持すること。
また、ハンドル先端にはバーエンドもしくは先端がカバーされるタイプのグリップが装着されていること。



3. ステップバーの先端は、中空でなくジュラコンを装着されていること。



削れているモノは不可

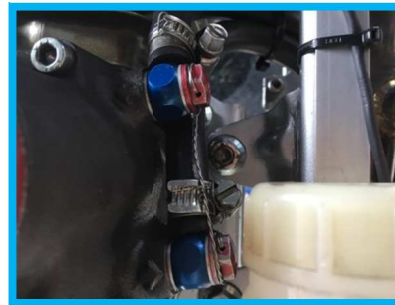
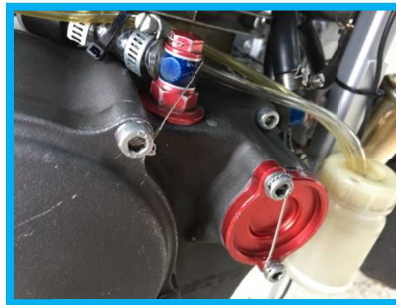
4. キャブレター車両は、転倒時にコースにガソリンがこぼれないよう、ガソリンキャッチタンク（100cc以上）を装着すること。また走行前は空にしておくこと。



5. オイルドレンボルト・給油口(フィラーキャップ)は、必ずステンレスワイヤーを用いワイヤーロックを施すこと。その際、ボルト等に通したワイヤーを締まる方向に引っ張り、フレームなどに固定すること。



6. オイルクーラー装着車両は、ホースバンドやバンジョウボルトのワイヤーロックを強く推奨します。



7. チェーン駆動車両は、フロント側リア側共にチェーンカバーの取外しは不可。但しリアフェンダーがチェーンカバーの機能を完全に満たしているものは可。
また、スイングアーム下側にチェーンとスプロケット噛合部をカバーする目的のスプロケットガードを取付けること。



8. F/R アクスルシャフトやブレーキ関連パーツ等に、ベーターピンを使用し固定している車両は、必ず抜け止め防止の為、ワイヤーロックを施すこと。



9. トランスポンダー（計測器）のベーターピンに、ワイヤーロックやタイラップで抜け止め防止をすること。



10. 4stミッション車両は、エンジンの故障やトラブルに備え、エンジンオイル全容量を受けることが出来る形状のアンダーカウルを装着すること。またレインコンディショニング時に備え、水抜き用の穴を設け、ドライ時はグロメットで蓋をすること。



11. ラジエター装着車両は、水または水とアルコールの化合物（レース専用冷却水）に交換すること。また転倒時に漏れにくい構造のリザーバートankもしくはキャッチタンク（100 cc以上）を、転倒時に影響がない場所に強固に取付けること。

12. クランクケースからブリーザーホースが出ている車両は、オイルキャッチタンク（250cc以上）もしくはそれと同等の機能を満たす物を装備しておくこと。その際の使用ホースは、耐油耐熱に適した材質のものを使用すること。ブローバイガスについてはキャブレター吸気への循環方式とすること。

13. ゼッケンは、フロントカウル・シートカウル両サイドの 3 点に、遠くから確実にゼッケンがはっきりと認識できるよう表示すること。但しシートカウルの面積が小さく、中央に 1 点しか表示出来ない場合は、サイドカウル両サイドにも表示し、合計 4 か所にゼッケンを貼ること。



シートカウルに 1 点のみの場合は



サイドカウル両サイドにも 2 点貼り付け必須

下記ゼッケンは見にくい為、使用不可となります。



蛍光ゼッケン #3



濃いベース色に
黒色ゼッケン #5



赤色ベースに
黒色ゼッケン #36



ベース面積が小さくデザインゼッケンの為、認識しづらい #57

灰色ベースに
白色ゼッケン #4



文字枠のみのゼッケンは不可 #41